

静岡市立伝馬町小学校 古代体験授業レポート

静岡県埋蔵文化財センター

令和3年5月25日（火）

初めての出前授業、興味津々！

当日は、「石器の試し切り」「土器の分類」「火起こし」等の古代の人々の生活体験をしました。

登呂遺跡の見学だけでは、十分な体験ができなかったため、より多くの児童に体験させたいという思いから出前授業が計画されました。本物の石器や土器に触れたり、火起こし体験を通して古代の人々の暮らしを思い描いたりしていました。



◎石器の試し切り体験

初めに黒曜石が主に伊豆諸島や長野県でしか採れないことを学びました。次に黒曜石を使って野菜を切る体験をしました。各自で家から持ってきたブロッコリーの芯やキャベツの葉、ニンジン等も切ることができ、黒曜石で堅い物も切れることがわかり、驚いていました。



◎土器分類体験

縄文・弥生・古墳時代の土器についての説明を詳しく教えてもらった後、実際に出土した土器を手に取り、重さや肌触り、模様などを実感しながら、土器片を各班で分類してみました。

それぞれの時代の土器の特徴や違いを班内で意見を交わしながら楽しく分類することができました。

◎火起こし体験

最初は、なかなか弾み車をリズムよく回すことができず、火種を作ることができませんでした。徐々に弾み車がテンポ良く回るようになり、やっとのことで火種ができ、火口に火種をそっと置きました。しばらく息を吹きかけると、煙が目にしみて大変でしたがやっと火が起きました。火起こしがこんなに大変だとは思ってもみなかったようですが、みんなで協力しながら頑張ることができました。

体験後、子どもたち一人一人の感想文と写真を画用紙に貼って送ってくれました。丁寧な対応をしていただき、ありがとうございました。

